

2024-030

研究課題名	集中治療室入室患者における摂食嚥下機能予後予測に関する検討
実施責任者	所属・職名：リハビリテーション部
	氏名： 黒 秀樹
研究の概要	集中治療領域において摂食嚥下機能を評価し、適切な食形態、栄養ルートを選択することは誤嚥性肺炎予防など生命予後の観点からも大変重要であるといわれています。今回、肺炎患者を対象とした接触機能評価 ASAPを用いて、集中治療室入室患者の摂食嚥下機能予後を予測する因子に関して調査いたします。
対象となる個人情報	対象患者における年齢、性別、BMI、在院日数、集中治療室滞在日数、ST 介入日数、Charlson Risk Index,dai,代替栄養の有無（経腸栄養／中心静脈栄養／なし）、集中治療室入室元（外来／救急／一般病棟／退院からの転院）、集中治療室入室カテゴリ（診療科）、集中治療室退室時におけるスクリーニング検査（modified water swallow test：MWST）、退院時の Functional Oral Intake Scale（FOIS）、ASAP、acute physiology and chronic health evaluation（APACHE Ⅱ）、鎮静期間、集中治療室におけるせん妄の有無（CAM-ICUに準拠）、気管内挿管機関などを調査いたします。
実施の期間	西暦 2024年 9月 1日より
	西暦 2025年 8月 31日まで
研究対象	当院集中治療室に入室し、担当言語聴覚士が介入し評価を実施した症例